



収穫多き地区新人大会

10月3日(木)・6日(日)に各会場で地区新人大会が行われましたので、その様子をお伝えします。

▼女子バレー部は身延・増穂中と対戦し、残念ながらセットカウント0-2で、どちらも敗れてしまいましたが、収穫の多い1日になりました。試合が進むごとにボールがつながる機会が多くなっていき、ボールを触るたびに上手になっていくのがよく分かりました。



このチームの良いところは、とにかく点が入るとみんなで心から喜ぶところです。チームとして大切なものを、この段階から持っている三珠中女子チーム、今後の成長が楽しみです。

▼男子バレー部は南部中・市川中と対戦し、残念ながらセットカウント0-2でどちらも敗れましたが、



女子と同じく大きな収穫を得た1日となりました。ミスをして

も勇気を持ってボールに向かっていく姿勢、仲間のミスをカバーしようとボール

に食らいつく姿勢が見ている者の胸を打ちました。

この雰囲気チーム全体で共有し、これからの練習に取り組んでいけば必ず良いチームになると思います。

▼野球部は1回戦、南部中に7-0で勝利、決勝では身延中に11-4で勝利し、見事、10月19日(土)に開幕する県大会に駒を進めました。決勝で三珠・市川・増穂合同チームは3回の表まで1-4とリードされるも、その裏三珠中2年生のエンタイトル2ベース



やスクイズで反撃ののろしを上げ、終わってみれば11-4の5回コールド勝ちを収めました。1回戦では1年生選手が公式戦デビューを果たすなど収穫の多い大会になりました。

▼ソフトテニス部は、大会を通じ貴重な経験を積むことができました。中でも一番の収穫は、試合の中でできることが増えたことです。個人・団体とも県大会出場はなりませんでした



でしたが、この経験を次に向けて生かしてほしいと願っています。

高校の部活動に関する生徒の勧誘にあたって

10月10日(木)より、高校入試(公立高校前期募集・私立高校入試)に関わって運動部員及び文化部員の高校側から生徒への勧誘が始まります。



1・2年生のみなさんは、「まだ遠い先の話」と思うかもしれませんが、そんなことはありません。中学生時代はあっという間に過ぎていきます。近い未来、きっと自分事となるはずなので知っておいて損はありません。

▼まず最初に断っておきたいのが、「高校からの勧誘があったイコール合格が保証される訳ではない」ということです。

特に公立高校は「前期募集」という受検を突破しなくてはなりません。「君に来てほしい」とか「君が必要だ」といくら高校側が言ったとしても、前期募集検査を突破しない限り合格はありえません。

声をかけてもらったのは、これまでの自分の頑張りが認められたという意味で胸を張って良いことですし、嬉しい気持ちも分かりますが、それで浮かれていると思わぬ落とし穴にはまってしまう可能性があるのです。実際にそのような生徒も見えましたし、安易に声をかけているとしか思えなかった当時の高校の顧問に腹立たしさを感じたことも覚えています。

▼さて、10月10日以降、3年生の中には中学校を通して、『□□高校の○○部顧問の先生が話をしたいと言っている』という話をもらう人が出てくると思います。

人によっては数校から話が来ることもしばしばです。そのような話があった場合、必ずしもすべての高校の話を聞く必要はありません。

自分の進路希望の学校であるか？3年間の高校生活をその高校で送っても良いと思える学校か？将来の夢につながる学習ができる場所なのか？などをよく考えて、その上で「話を聞いてみたい」と思った高校の話を聞いてもらえたらと思います。

▼さて、入試に関わるルールでは、高校側が生徒を勧誘する際、「生徒への直接の説明は、生徒と保護者及び中学校の教員同席で行う」となっています。三珠中学校では、この席を進路決定の上で必要な三者懇談と同等のものとなして、職員の勤務時間の中で行うことといたします。生徒は通常、6時間授業がありますので、午後4時から午後5時の間の時間帯に保護者及び高校の先生に来ていただき、本校職員同席のもとで説明を聞く機会を設定します。どうぞご理解とご協力の程よろしくお願ひします。

